

当社は、「高度な技術力と誠実な流通サービスにより優れた重包装製品を提供し、お客様の商品の価値を高め、産業界の発展と生活文化に貢献する、誇りと夢のある企業を目指します。また、あらゆる産業の物流に最適なパッケージング（包装）を総合的に開発するゼネラル・パッケージング・インダストリー、レンゴーのグループ企業として、7つの指針に基づいて行動します。」を経営理念に掲げています。

また、レンゴーグループの環境目標「エコチャレンジ2030」で、2030年に「2013年度比46%削減」を掲げており、各工場での太陽光発電設備の導入検討、老朽化設備の省エネ設備への交換や電灯等のLED化の実施により、CO2排出量の削減に向けた取組を行っていく方針です。

本計画では、埼玉工場へタンデムラミネート機を新規導入し、生産能力の増強や環境配慮型紙容器の開発・製造を通して、企業活動と地球環境の調和を基本に考え、地球環境の保全に配慮した継続的な活動を推進する当社の環境方針のもと、お客様の満足度向上に努めて参ります。

炭素生産性としては、基準年度と比較して、目標年度に11.39%向上させることを目標に、更なる企業価値向上を目指します。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2023年5月～2025年3月

### 2. 生産性向上目標

炭素生産性を11.39%以上向上させる。

### 3. 前向きな取組みの内容

埼玉工場において、新たにラミネート原紙を製造するタンデム機を導入予定。既存の老朽化設備を一部撤去し、新たなタンデム機を増設することで、生産能力の増強や、外注製品の内製化等により、付加価値額が増加。この取組により、炭素生産性を11.39%向上させる。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <取組みの内容のイメージ>

### 【埼玉工場 外観】



### 【新タンデム機の導入】

